

平成 28 年度活動報告

地域における地理空間情報の普及啓発、行政支援、並びに計測技術の新たなニーズへの対応と市場づくりに関する調査研究活動を通して、地域における地理空間情報社会の実現と市場創出型産業を育成し、地域での雇用創出と活力あるまちづくりを目指して、以下の事業を実施した。

1. 広報普及活動

- 1) ホームページの充実
 - ・タイムリーな「活動情報等」の配信
- 2) 関係省庁及び関係団体への情報収集、要望活動
 - ・水産庁漁港漁場整備部 吉塚靖浩整備課長 他
 - ・国立研究開発法人情報通信機構 熊谷 博研究センター長
- 3) 広報誌・報道の有効活用
 - ・日本工業経済新聞に活動掲載
 - ・平成 28 年度総会及び第 1 回新技術・新商品発表会
 - ・特集「地方創生」を考える
～地域資源の活用と再生可能エネルギー（小水力発電）～
 - ・平成 28 年度第 2 回新技術新商品発表会
 - ・特集「道路ストック総点検」が本格化
～AI を活用して舗装点検の大幅なコスト低減～
 - ・特集「舗装マネジメントを考える」
～舗装点検要領の策定を機に、より効率的な維持管理へ～
- 4) 当機構会員の技術者、保有機器に関する資料整備と公開
 - ・会員企業の特異技術のとりまとめ

2. 新技術・新ニーズの調査研究

- 1) 新技術・新ニーズの情報収集、提供（情報収集と活用ツールの整備）
～会員との連携による新ビジネス、新事業の開発～
 - ・再生可能エネルギー事業
「小水力発電の普及と地域ビジネスモデル構築」
 - ・水産多面的機能発揮対策事業
「魚礁環境保全事業と地域ビジネスモデルの構築」
- 2) 新ビジネスモデルの構築、新規事業提案活動の促進

～受注生産からの脱皮&建設関連業からの脱却～

- ・舗装道路簡易クラックアセスメントの自治体連携実証試験実施

3) 異業種連携の促進

- ・(株) 東芝、IDEC システムズ&コントロールズとのビジネスモデル構築

3. 行政支援活動

1) 行政支援体制の整備と特別会員（地方自治体）の拡大

- ・行政セミナー ～これからの舗装マネジメントを考える～

3月10日 於：都道府県会館

2) 行政支援ツールの整備と普及

- ・軽量・コンパクト 3D レーザー「FARO Focus3D X330」の普及
- ・舗装道路簡易クラックアセスメントの普及
- ・土砂災害危険調査と掘削法面補強設計（TOP 工法）の普及

4. 技術認定等、技術者育成活動

1) 技術認定講習会の実施（技術認定証、技術者証の付与）

- ・KUMONOS 技術認定講習会

大阪：5月11日～13日、東京：6月1日～3日

2) 測量専門ドローンパイロットの養成の実施

- ・内閣府認定公益財団法人日本航空教育協会発行

「無人航空機操縦技能証明書」、「無人航空写真測量技能証明書」付与

- ・学校法人日本航空学園と連携、3月15日プレス発表

5. 地域創設企業の育成と諸研修活動

1) 会員向けセミナー（技術セミナー、経営セミナー）

- ・新技術・新商品発表会：6月13日 於 KPP 八重洲ビル（東京）

- ・若手経営者懇談会：10月13日 於 (株) タナカコンサルタント会議室

- ・第2回新技術・新商品発表会：11月15日 於 KKP 八重洲ビル

以上